

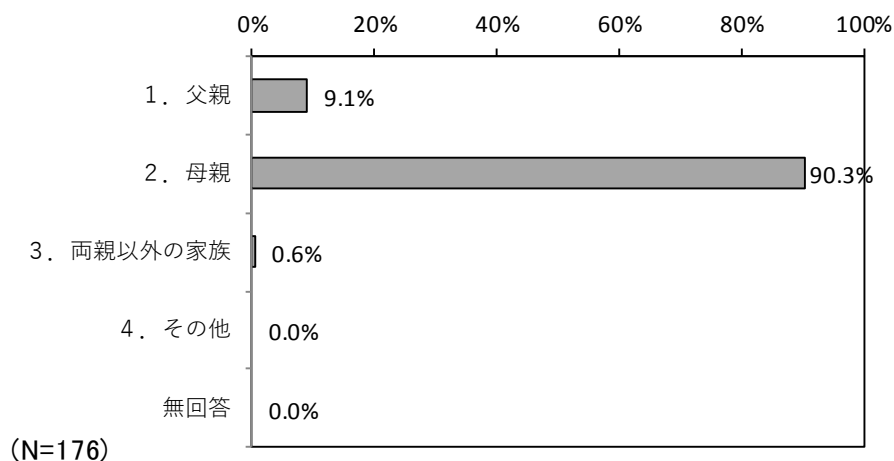
2 児童の保護者向けアンケート

(1) 集計結果

問1 この調査に回答していただく方は、どなたですか。(1つに〇)

1. 父親
2. 母親
3. 両親以外の家族
4. その他

本アンケートへの回答者は、「母親」が約90%、「父親」が約9%、「両親以外の家族」が約1%となっています。



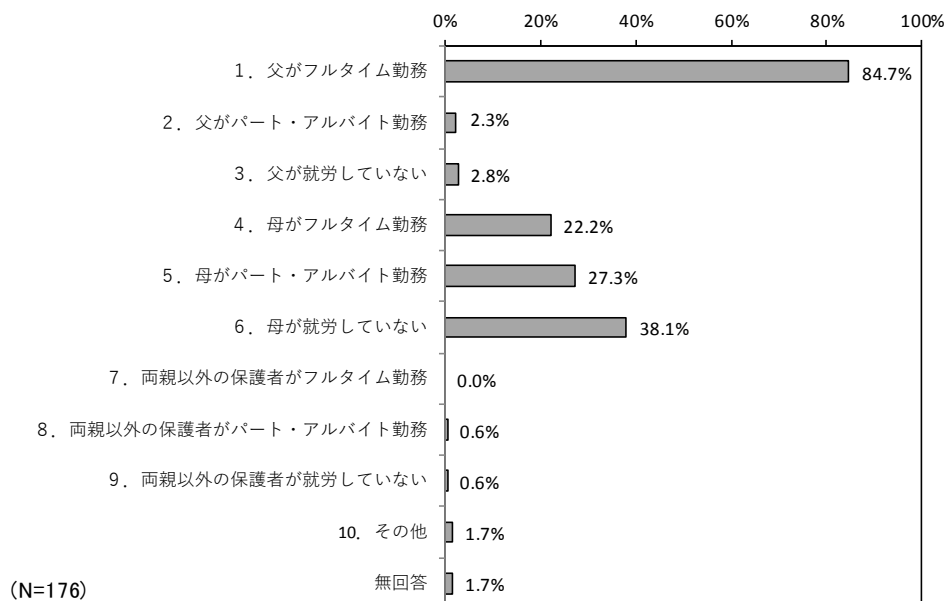
		回答者数	1. 父親	2. 母親	3. 両親以外の家族	4. その他	無回答
児童	人数	176	16	159	1	0	0
	構成比		9.1%	90.3%	0.6%	0.0%	0.0%

1位: **白文字** 2位: **太文字**

問2 お子さんの保護者の方の就労状況を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

1. 父がフルタイム勤務
2. 父がパート・アルバイト勤務
3. 父が就労していない
4. 母がフルタイム勤務
5. 母がパート・アルバイト勤務
6. 母が就労していない
7. 両親以外の保護者がフルタイム勤務
8. 両親以外の保護者がパート・アルバイト勤務
9. 両親以外の保護者が就労していない
10. その他

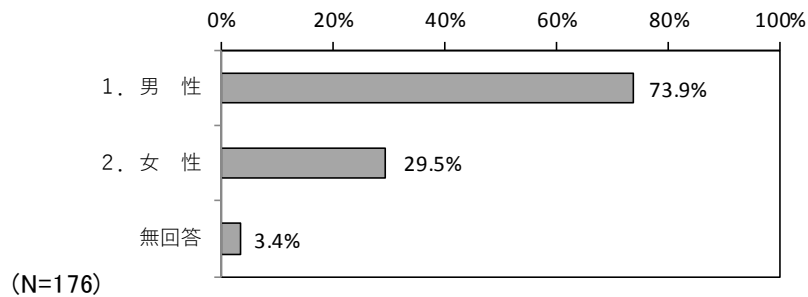
保護者の方の就労状況は、「父がフルタイム勤務」が約85%、「母が就労していない」が約38%となっています。「母がフルタイム勤務」が約22%、「母がパート・アルバイト勤務」が約27%となっています。



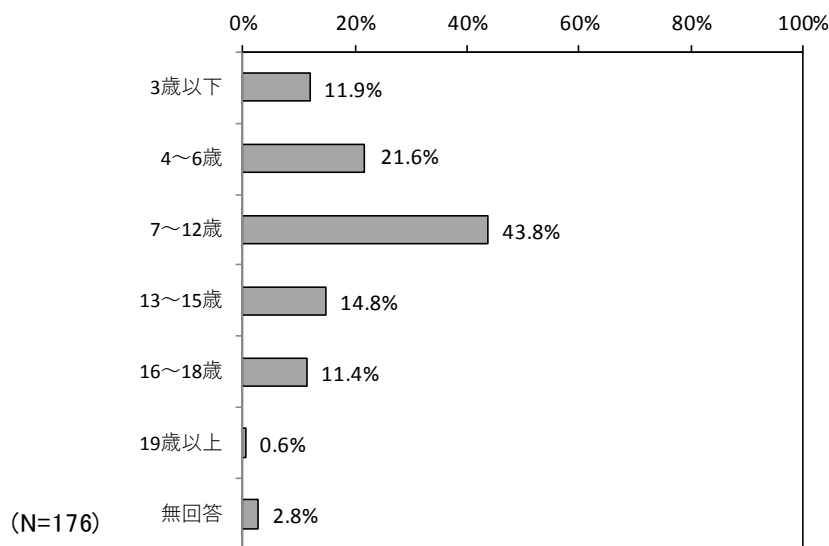
		回答者数	1. 父がフルタイム勤務	2. 父がパート・アルバイト勤務	3. 父が就労していない	4. 母がフルタイム勤務	5. 母がパート・アルバイト勤務	6. 母が就労していない	7. 両親以外の保護者がフルタイム勤務	8. 両親以外の保護者がパート・アルバイト勤務	9. 両親以外の保護者が就労していない	10. その他	無回答
児童	人数	176	149	4	5	39	48	67	0	1	1	3	3
	構成比		84.7%	2.3%	2.8%	22.2%	27.3%	38.1%	0.0%	0.6%	0.6%	1.7%	1.7%

問 3 障害をおもちのお子さん、発達に関する不安をおもちのお子さんの性別と平成28年10月1日現在の年齢をお答えください。

お子さんの性別は、「男性」が約74%、「女性」が約30%となっています。年齢は「7歳から12歳」が約44%で最も多く、次いで「4歳から6歳」が約22%、「13歳から15歳」が15%となっています。



		回答者数	1. 男性	2. 女性	無回答
児童	人数	176	130	52	6
	構成比		73.9%	29.5%	3.4%



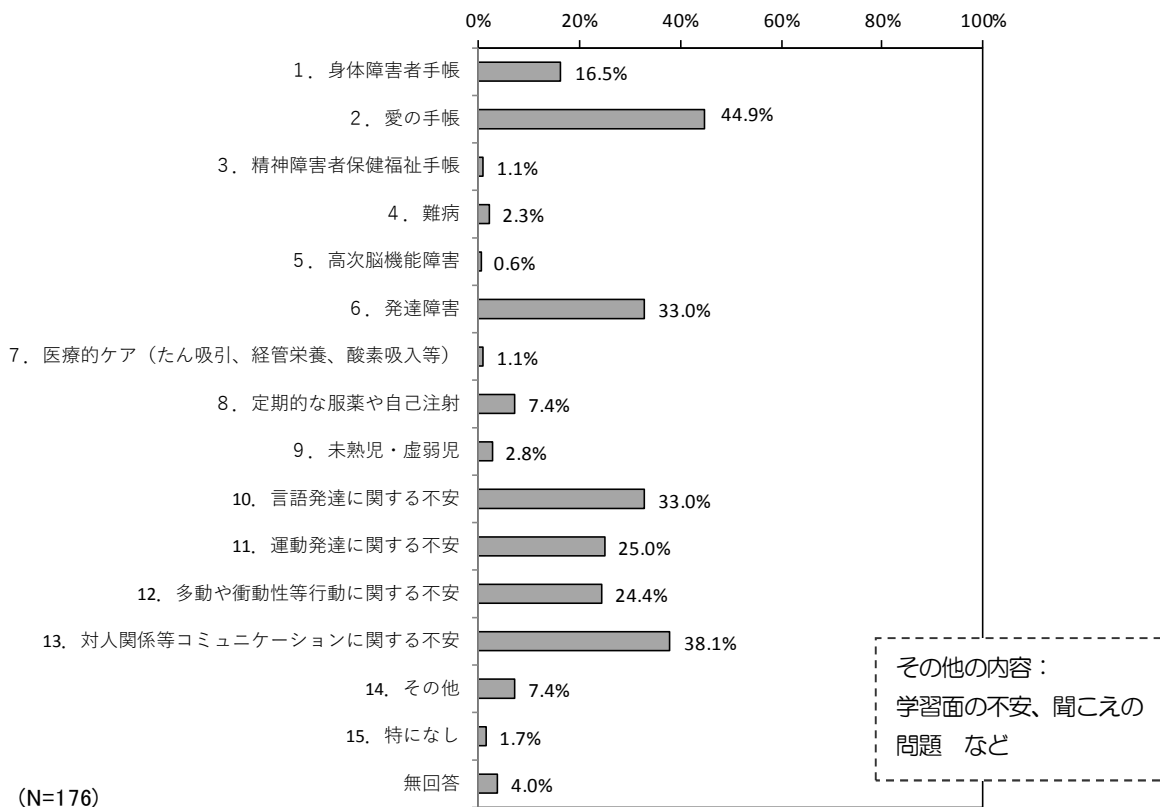
		回答者数	3歳以下	4~6歳	7~12歳	13~15歳	16~18歳	19歳以上	無回答
児童	人数	176	21	38	77	26	20	1	5
	構成比		11.9%	21.6%	43.8%	14.8%	11.4%	0.6%	2.8%

※176名の回答者（保護者）のうち、12名は調査対象となるお子さんが2人いるため、構成比の合計が100%を越えています。

問 4-1 お子さんがお持ちの手帳や発達に関する不安について、あてはまるものすべてに○をしてください。

- | | |
|---------------------------|---------------------|
| 1. 身体障害者手帳 | 2. 愛の手帳 |
| 3. 精神障害者保健福祉手帳 | 4. 難病 |
| 5. 高次脳機能障害 | 6. 発達障害 |
| 7. 医療的ケア（たん吸引、経管栄養、酸素吸入等） | 8. 定期的な服薬や自己注射 |
| 9. 未熟児、虚弱児 | 10. 言語発達に関する不安 |
| 11. 運動発達に関する不安 | 12. 多動や衝動性等行動に関する不安 |
| 13. 対人関係等コミュニケーションに関する不安 | 14. その他 |
| 15. 特になし | |

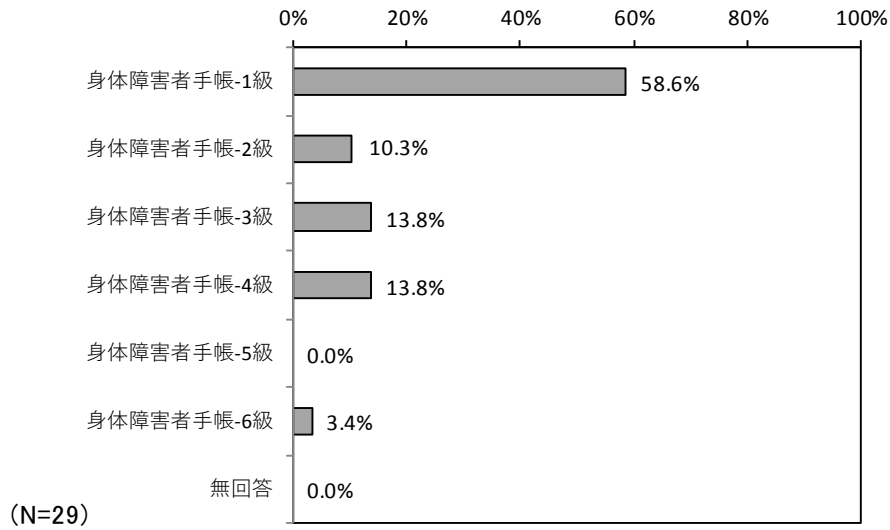
お子さんがお持ちの手帳については、「愛の手帳」をお持ちのお子さんが約45%、次いで「身体障害者手帳」が約17%となっています。お子さんの発達に関する不安については、「対人関係等コミュニケーションに関する不安」が約38%、「発達障害」「言語発達に関する不安」が約33%となっています。



児童	回答者数	1. 身体障害者手帳	2. 愛の手帳	3. 精神障害者保健福祉手帳	4. 難病	5. 高次脳機能障害	6. 発達障害	7. 医療的ケア（たん吸引、経管栄養、酸素吸入等）	8. 定期的な服薬や自己注射	9. 未熟児・虚弱児	10. 言語発達に関する不安	11. 運動発達に関する不安	12. 多動や衝動性等行動に関する不安	13. 対人関係等コミュニケーションに関する不安	14. その他	15. 特になし	無回答																
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比															
	176	29	16.5%	79	44.9%	2	1.1%	4	2.3%	1	0.6%	58	33.0%	2	1.1%	13	7.4%	5	2.8%	58	33.0%	44	25.0%	43	24.4%	67	38.1%	13	7.4%	3	1.7%	7	4.0%

問4-2 身体障害者手帳の級数

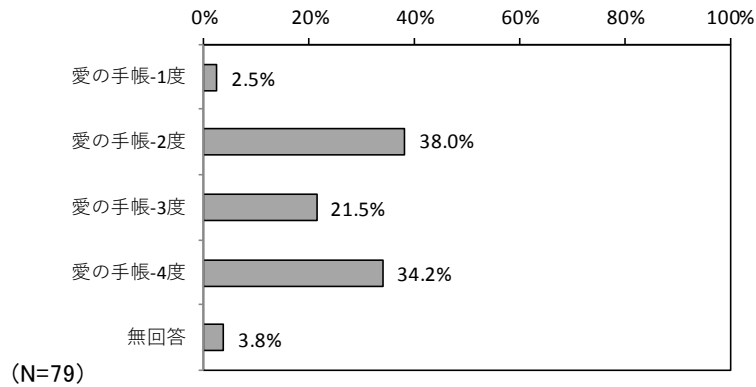
身体障害者手帳の級数は、「1級」が約59%と最も多く、次いで「3級」「4級」が14%となっています。



		回答者数	身体障害者手帳-1級	身体障害者手帳-2級	身体障害者手帳-3級	身体障害者手帳-4級	身体障害者手帳-5級	身体障害者手帳-6級	無回答
児童	人数	29	17	3	4	4	0	1	0
	構成比		58.6%	10.3%	13.8%	13.8%	0.0%	3.4%	0.0%

問4-3 愛の手帳の度数

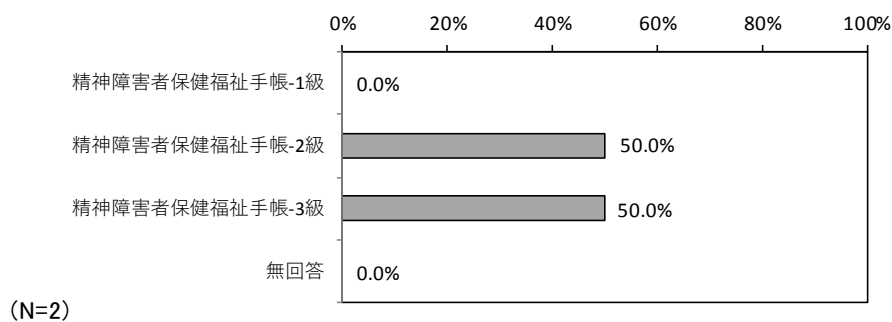
愛の手帳の度数は、「2度」が約38%と最も多く、次いで「4度」が約34%となっています。



		回答者数	愛の手帳-1度	愛の手帳-2度	愛の手帳-3度	愛の手帳-4度	無回答
児童	人数	79	2	30	17	27	3
	構成比		2.5%	38.0%	21.5%	34.2%	3.8%

問4-4 精神障害者保健福祉手帳の級数

精神障害者保健福祉手帳の級数は、「2級」「3級」の方がそれぞれ1名となっています。

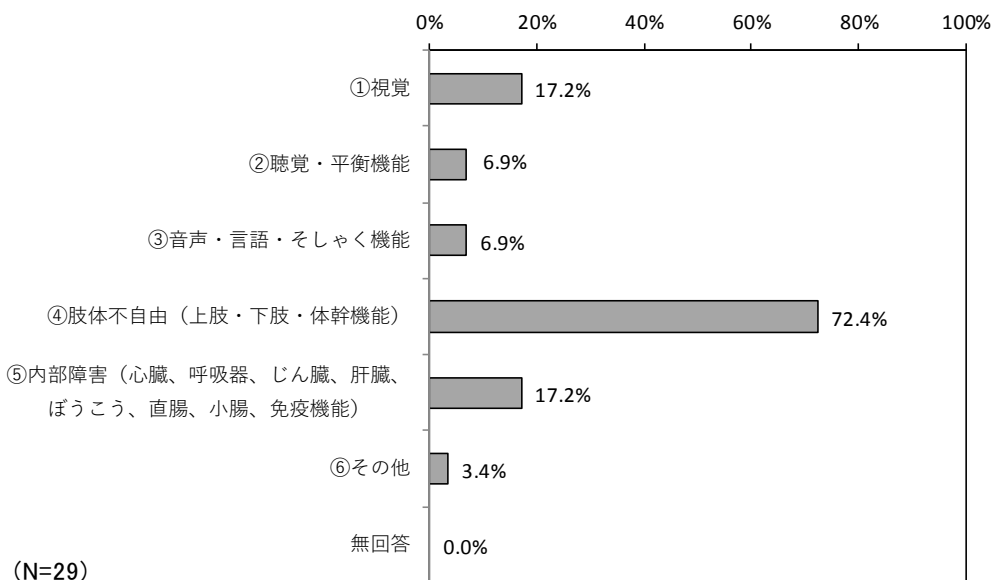


		回答者数	精神障害者保健福祉手帳-1級	精神障害者保健福祉手帳-2級	精神障害者保健福祉手帳-3級	無回答
児童	人数	2	0	1	1	0
	構成比		0.0%	50.0%	50.0%	0.0%

問 4-5 身体障害者手帳をお持ちの場合にうかがいます。次の①～⑥のうち、主な障害の部位はどれですか。(あてはまるものすべてに○)

- ①視覚
- ②聴覚・平衡機能
- ③音声・言語・そしゃく機能
- ④肢体不自由（上肢・下肢・体幹機能）
- ⑤内部障害（心臓、呼吸器、じん臓、肝臓、ぼうこう、直腸、小腸、免疫機能）
- ⑥その他

身体障害者手帳をお持ちのお子さんの主な障害の部位については、「肢体不自由」が約72%と最も多く、次いで「視覚」「内部障害」がそれぞれ約17%となっています。



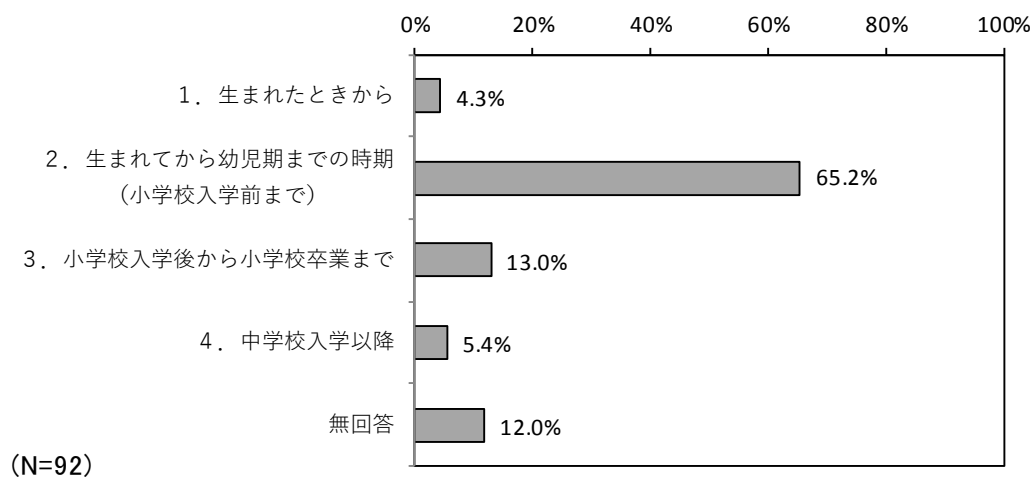
		回答者数	①視覚	②聴覚・平衡機能	③音声・言語・そしゃく機能	④肢体不自由	⑤内部障害	⑥その他	無回答
児童	人数	29	5	2	2	21	5	1	0
	構成比		17.2%	6.9%	6.9%	72.4%	17.2%	3.4%	0.0%

問5 障害者手帳をお持ちのお子さんについてうかがいます。障害者手帳をはじめて交付されたのはいつですか。(1つに〇)

1. 生まれたときから
2. 生まれてから幼児期までの時期 (小学校入学前まで)
3. 小学校入学後から小学校卒業まで
4. 中学校入学以降

「生まれてから幼児期までの時期 (小学校入学前まで)」が約65%

障害者手帳をはじめて交付された時期については、「生まれてから幼児期までの時期 (小学校入学前まで)」が約65%と最も多く、次いで「小学校入学後から小学校卒業まで」が約13%となっています。



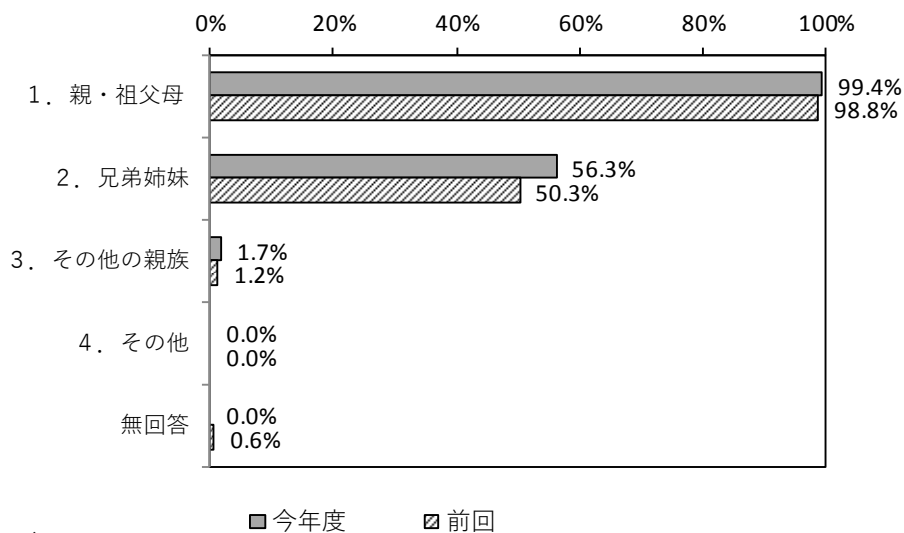
		回答者数	1. 生まれたときから	2. 生まれてから幼児期までの時期 (小学校入学前まで)	3. 小学校入学後から小学校卒業まで	4. 中学校入学以降	無回答
児童	人数	92	4	60	12	5	11
	構成比		4.3%	65.2%	13.0%	5.4%	12.0%

問6 お子さんはどなたと一緒に暮らしていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 親・祖父母
2. 兄弟姉妹
3. その他の親族
4. その他

「親・祖父母」が約99%、「兄弟姉妹」が約56%

お子さんが一緒に暮らしている人は、「親・祖父母」が約99%、「兄弟姉妹」が約56%となっています。



(N=176)

		回答者数	1. 親・祖父母	2. 兄弟姉妹	3. その他の親族	4. その他	無回答
児童	人数	176	175	99	3	0	0
	構成比		99.4%	56.3%	1.7%	0.0%	0.0%

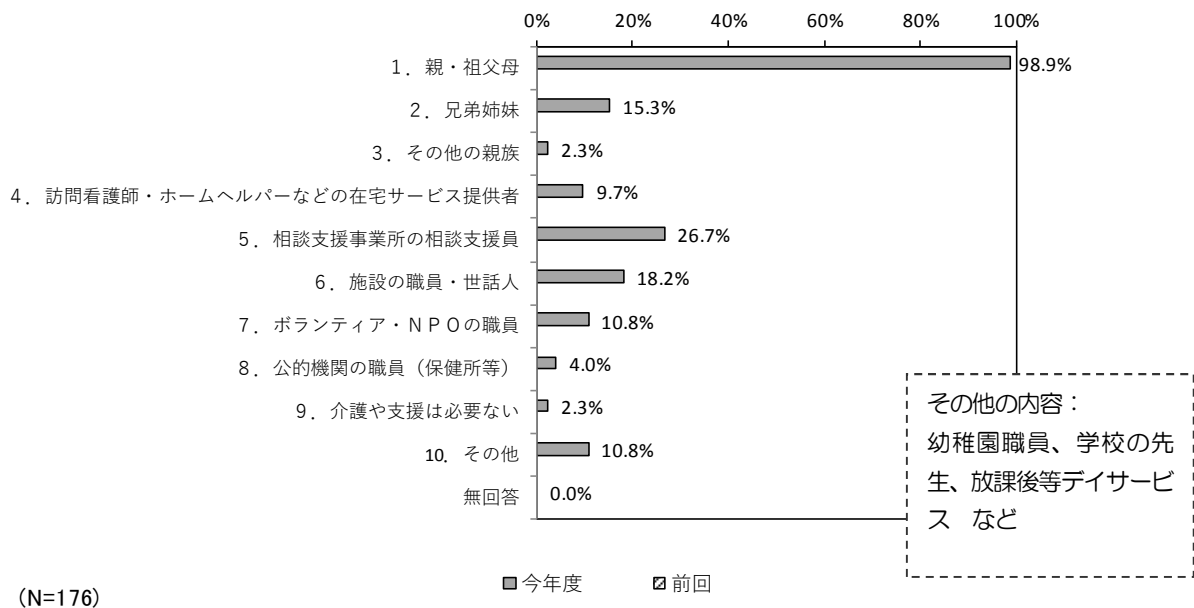
問7 お子さんの介護や支援をしている人はどなたですか。また、その中で主に介護や支援をしている人はどなたですか。※お子さんからみた続柄（関係）で回答してください。

1. 親・祖父母
2. 兄弟姉妹
3. その他の親族
4. 訪問看護師・ホームヘルパーなどの在宅サービス提供者
5. 相談支援事業所の相談支援員
6. 施設の職員・世話人
7. ボランティア・NPOの職員
8. 公的機関の職員（保健所等）
9. 介護や支援は必要ない
10. その他

主たる介護・支援者は「親・祖父母」が約93%

① 介護や支援をしている方（複数回答）

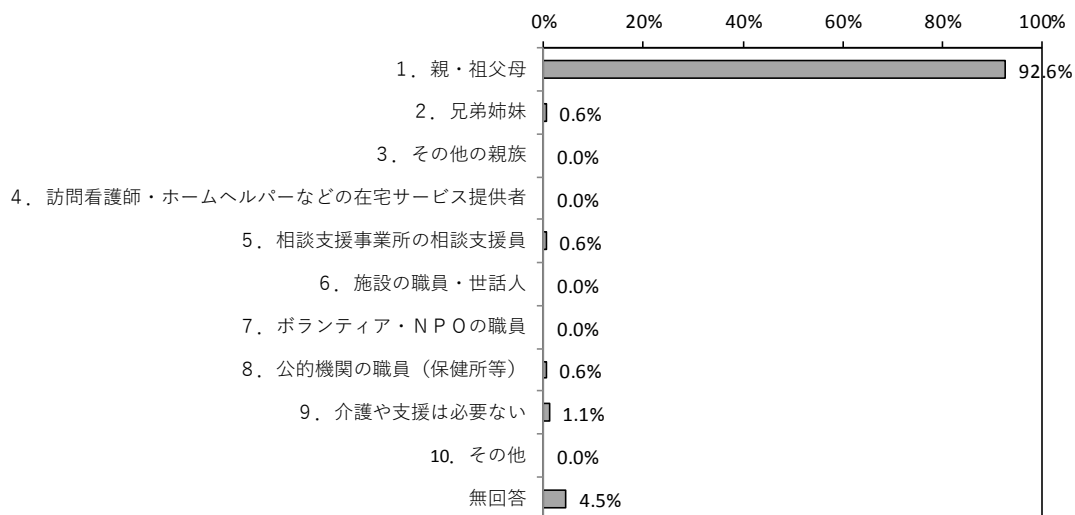
お子さんの介護や支援をしている方は、「親・祖父母」が約99%と最も多く、次いで「相談支援事業所の相談支援員」が約27%、「施設の職員・世話人」が約18%となっています。



児童	回答者数	1. 親・祖父母	2. 兄弟姉妹	3. その他の親族	4. 訪問看護師・ホームヘルパーなどの在宅サービス提供者	5. 相談支援事業所の相談支援員	6. 施設の職員・世話人	7. ボランティア・NPOの職員	8. 公的機関の職員（保健所等）	9. 介護や支援は必要ない	10. その他	無回答
		人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数
	176	174	27	4	17	47	32	19	7	4	19	0
		98.9%	15.3%	2.3%	9.7%	26.7%	18.2%	10.8%	4.0%	2.3%	10.8%	0.0%

② ①で回答した中で主に介護や支援をしている方（ひとつに〇）

①で回答した介護・支援者の中で、主にお子さんの介護や支援をしている方は、「親・祖父母」が約93%となっています。



(N=176)

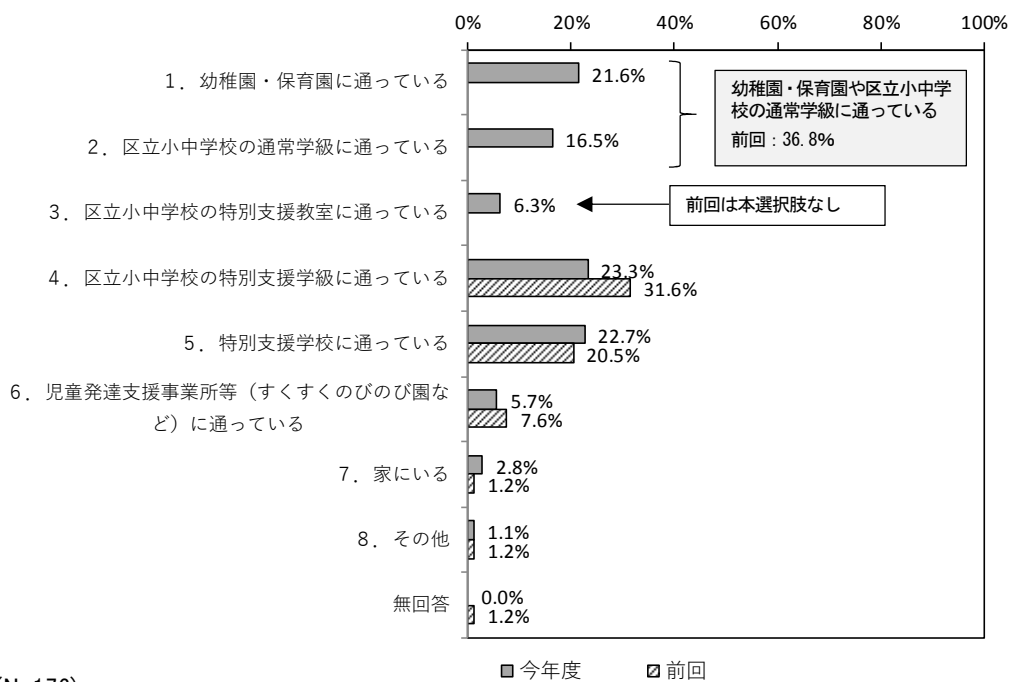
		回答者数	1. 親・祖父母	2. 兄弟姉妹	3. その他の親族	4. 訪問看護師・ホームヘルパーなどの在宅サービス提供者	5. 相談支援事業所の相談支援員	6. 施設の職員・世話人	7. ボランティア・NPOの職員	8. 公的機関の職員（保健所等）	9. 介護や支援は必要ない	10. その他	無回答
児童	人数	176	163	1	0	0	1	0	0	1	2	0	8
	構成比		92.6%	0.6%	0.0%	0.0%	0.6%	0.0%	0.0%	0.6%	1.1%	0.0%	4.5%

問8 お子さんは、平日の日中、主にどのように過ごしていますか。(主なもの1つに○)

1. 幼稚園・保育園に通っている
2. 区立小中学校の通常学級に通っている
3. 区立小中学校の特別支援教室に通っている
4. 区立小中学校の特別支援学級に通っている
5. 特別支援学校に通っている
6. 児童発達支援事業所等(すくすくのびのび園など)に通っている
7. 家にいる
8. その他

「特別支援学級」、「特別支援学校」が約23%

お子さんの平日日中の主な過ごし方については、「区立小中学校の特別支援学級に通っている」、「特別支援学校に通っている」が約23%、「幼稚園・保育園に通っている」が約22%、「区立小中学校の通常学級に通っている」が約17%となっています。



(N=176)

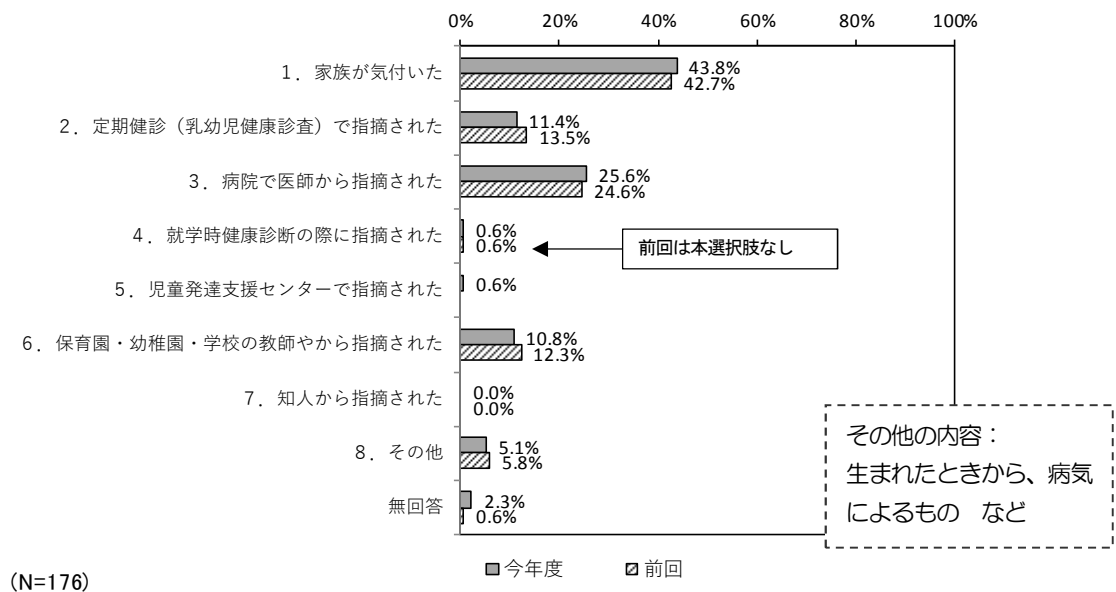
		回答者数	1. 幼稚園・保育園に通っている	2. 区立小中学校の通常学級に通っている	3. 区立小中学校の特別支援教室に通っている	4. 区立小中学校の特別支援学級に通っている	5. 特別支援学校に通っている	6. 児童発達支援事業所等(すくすくのびのび園など)に通っている	7. 家にいる	8. その他	無回答
児童	人数	176	38	29	11	41	40	10	5	2	0
	構成比		21.6%	16.5%	6.3%	23.3%	22.7%	5.7%	2.8%	1.1%	0.0%

問9 お子さんの発達の不安や障害に気付いたきっかけは何ですか。また、それはいつごろですか。
(1つに〇)

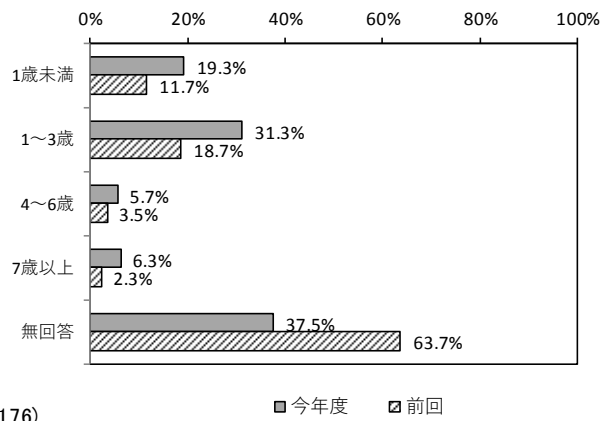
1. 家族が気付いた
2. 定期健診（乳幼児健康診査）で指摘された
3. 病院で医師から指摘された
4. 就学時健康診断の際に指摘された
5. 児童発達支援センターで指摘された
6. 保育園・幼稚園・学校の教師や職員から指摘された
7. 知人から指摘された
8. その他

「家族が気付いた」が約44%

お子さんの発達の不安や障害に気付いたきっかけについては、「家族が気付いた」が約44%で最も多く、次いで「病院で医師から指摘された」が約26%となっています。発達の不安や障害に気付いた時のお子さんの年齢は、「1～3歳」が約31%、「1歳未満」が約19%となっています。



児童	回答者数									
	人数	1. 家族が気付いた	2. 定期健診（乳幼児健康診査）で指摘された	3. 病院で医師から指摘された	4. 就学時健康診断の際に指摘された	5. 児童発達支援センターで指摘された	6. 保育園・幼稚園・学校の教師や職員から指摘された	7. 知人から指摘された	8. その他	無回答
人数	176	77	20	45	1	1	19	0	9	4
構成比		43.8%	11.4%	25.6%	0.6%	0.6%	10.8%	0.0%	5.1%	2.3%



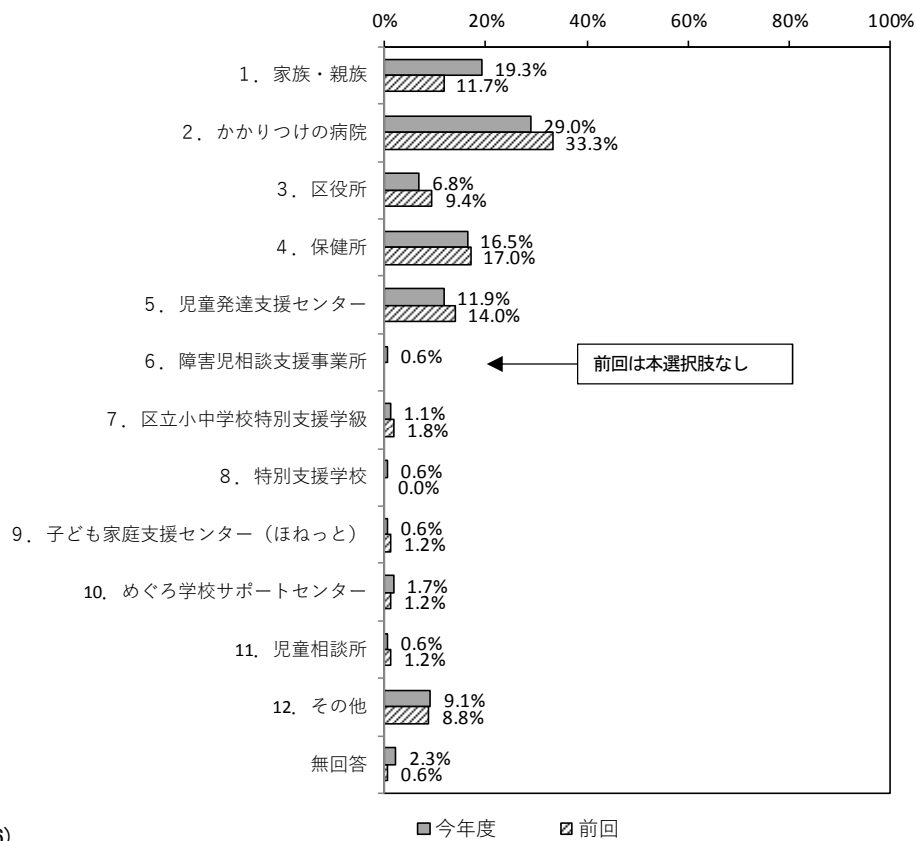
		回答者数	1歳未満	1~3歳	4~6歳	7歳以上	無回答
児童	人数	176	34	55	10	11	66
	構成比		19.3%	31.3%	5.7%	6.3%	37.5%

問 10 お子さんの発達の不安や障害に気付いたとき、誰に（どこに）相談しましたか。（主なもの1つに○）

- | | |
|----------------------|-------------------|
| 1. 家族・親族 | 2. かかりつけの病院 |
| 3. 区役所 | 4. 保健所 |
| 5. 児童発達支援センター | 6. 障害児相談支援事業所 |
| 7. 区立小中学校特別支援学級 | 8. 特別支援学校 |
| 9. 子ども家庭支援センター（ほねっと） | 10. めぐる学校サポートセンター |
| 11. 児童相談所 | 12. その他 |

「かかりつけの病院」への相談が約29%

お子さんの発達の遅れや障害に気付いたときの相談先については、「かかりつけの病院」が約29%で最も多く、次いで「家族・親族」が約19%、「保健所」が約17%、「児童発達支援センター」が約12%となっています。



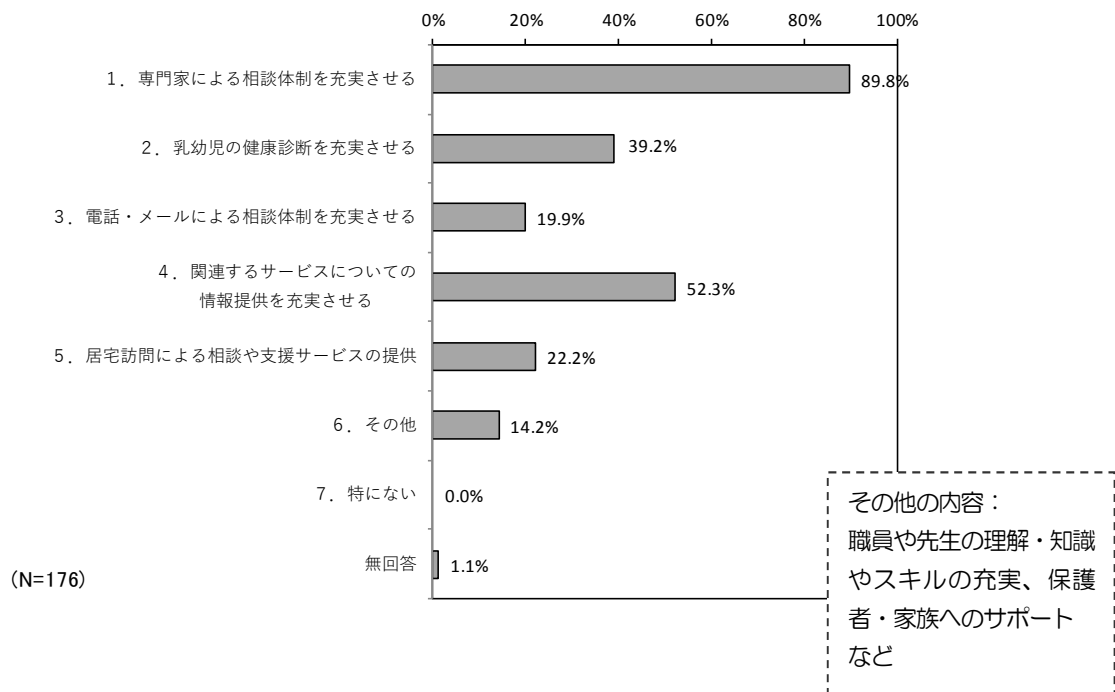
		回答者数	1. 家族・親族	2. かかりつけの病院	3. 区役所	4. 保健所	5. 児童発達支援センター	6. 障害児相談支援事業所	7. 区立小中学校特別支援学級	8. 特別支援学校	9. 子ども家庭支援センター（ほねっと）	10. めぐる学校サポートセンター	11. 児童相談所	12. その他	無回答
児童	人数	176	34	51	12	29	21	1	2	1	1	3	1	16	4
	構成比		19.3%	29.0%	6.8%	16.5%	11.9%	0.6%	1.1%	0.6%	0.6%	1.7%	0.6%	9.1%	2.3%

問 11 発達に関する不安や障害のあるお子さんが早期に適切な支援を受けるために必要なことは何だと思えますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 専門家による相談体制を充実させる
2. 乳幼児の健康診断を充実させる
3. 電話・メールによる相談体制を充実させる
4. 関連するサービスについての情報提供を充実させる
5. 居宅訪問による相談や支援サービスの提供
6. その他
7. 特にない

「専門家による相談体制を充実させる」が約90%

発達に関する不安や障害のあるお子さんが早期に適切な支援を受けるために必要なことについては、「専門家による相談体制を充実させる」が約90%、「関連するサービスについての情報提供を充実させる」が約52%、「乳幼児の健康診断を充実させる」が約39%となっています。



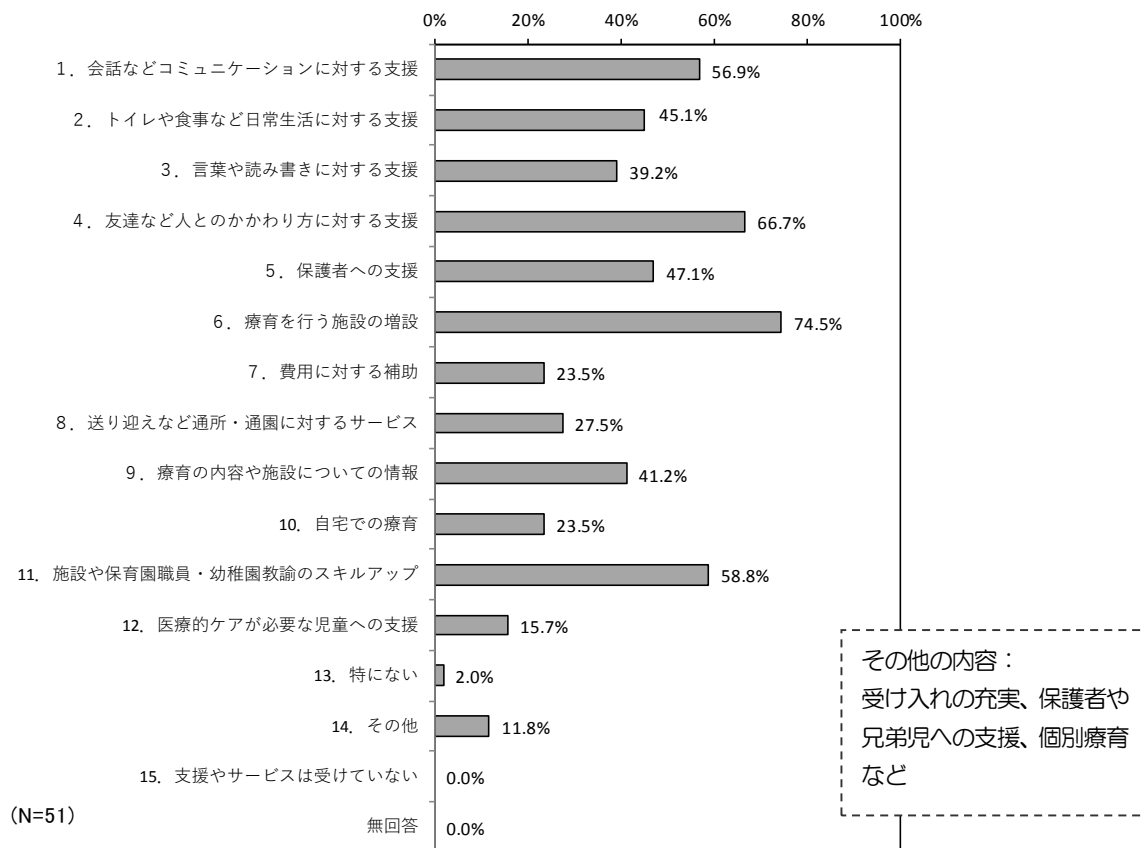
		回答者数	1. 専門家による相談体制を充実させる	2. 乳幼児の健康診断を充実させる	3. 電話・メールによる相談体制を充実させる	4. 関連するサービスについての情報提供を充実させる	5. 居宅訪問による相談や支援サービスの提供	6. その他	7. 特にない	無回答
児童	人数	176	158	69	35	92	39	25	0	2
	構成比		89.8%	39.2%	19.9%	52.3%	22.2%	14.2%	0.0%	1.1%

問 12 就学前のお子さんについてお聞きします。お子さんが受けている療育や支援について、充実させるべきだと思う点がありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------------|------------------------|
| 1. 会話などコミュニケーションに対する支援 | 2. トイレや食事など日常生活に対する支援 |
| 3. 言葉や読み書きに対する支援 | 4. 友達など人とのかかわり方に対する支援 |
| 5. 保護者への支援 | 6. 療育を行う施設の増設 |
| 7. 費用に対する補助 | 8. 送り迎えなど通所・通園に対するサービス |
| 9. 療育の内容や施設についての情報 | 10. 自宅での療育 |
| 11. 施設や保育園職員・幼稚園教諭のスキルアップ | 12. 医療的ケアが必要な児童への支援 |
| 13. 特にない | 14. その他 |
| 15. 支援やサービスは受けていない | |

「療育を行う施設の増設」が約75%

就学前のお子さんが受けている療育や支援でさらに充実させるべきだと思う点については、「療育を行う施設の増設」が約75%で最も多く、次いで「友達など人とのかかわり方に対する支援」が約67%、「施設や保育園職員・幼稚園教諭のスキルアップ」が約59%、「会話などコミュニケーションに対する支援」が約57%となっています。



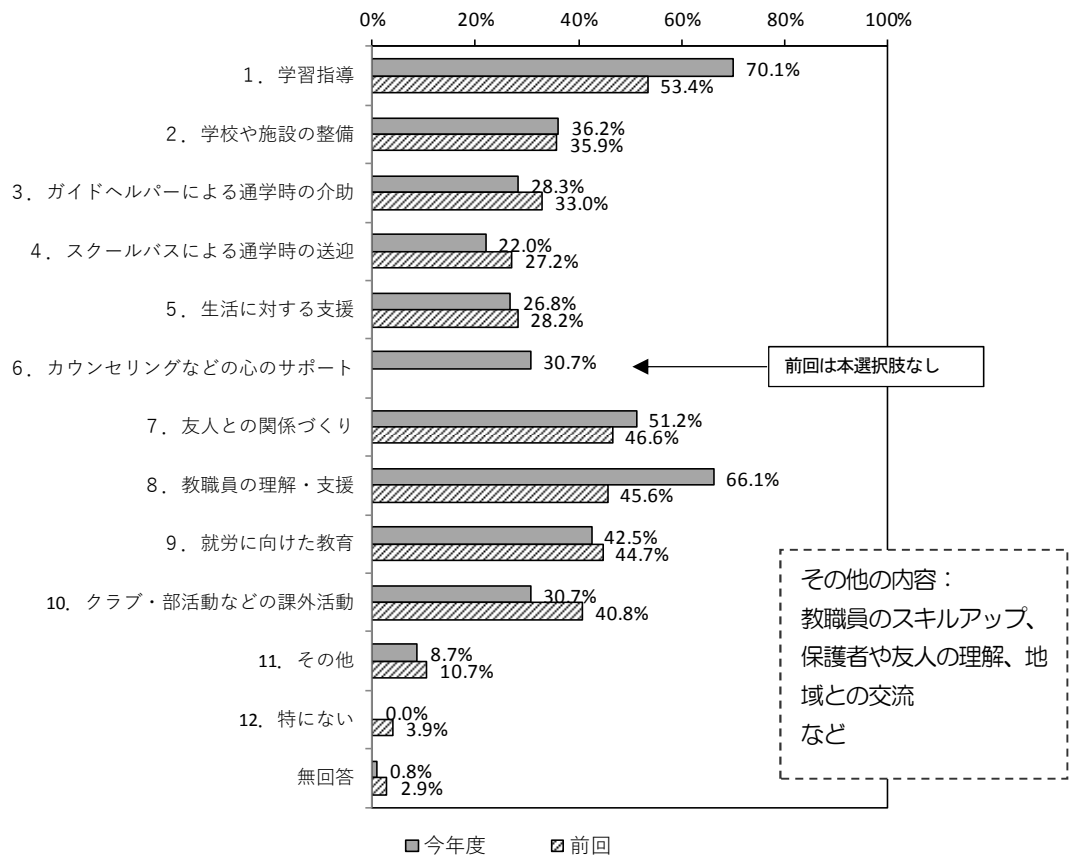
		1. 会話などコミュニケーションに対する支援	2. トイレや食事など日常生活に対する支援	3. 言葉や読み書きに対する支援	4. 友達など人とのかかわり方に対する支援	5. 保護者への支援	6. 療育を行う施設の増設	7. 費用に対する補助	8. 送り迎えなど通所・通園に対するサービス	9. 療育の内容や施設についての情報	10. 自宅での療育	11. 施設や保育園職員・幼稚園教諭のスキルアップ	12. 医療的ケアが必要な児童への支援	13. 特にない	14. その他	15. 支援やサービスは受けていない	無回答	
児童	人数	51	29	23	20	34	24	38	12	14	21	12	30	8	1	6	0	0
	構成比		56.9%	45.1%	39.2%	66.7%	47.1%	74.5%	23.5%	27.5%	41.2%	23.5%	58.8%	15.7%	2.0%	11.8%	0.0%	0.0%

問 13 就学中のお子さんについてお聞きします。お子さんが受けている教育や、学校生活について、充実させるべきだと思う点がありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1. 学習指導 | 2. 学校や施設の整備 |
| 3. ガイドヘルパーによる通学時の介助 | 4. スクールバスによる通学時の送迎 |
| 5. 生活に対する支援 | 6. カウンセリングなどの心のサポート |
| 7. 友人との関係づくり | 8. 教職員の理解・支援 |
| 9. 就労に向けた教育 | 10. クラブ・部活動などの課外活動 |
| 11. その他 | 12. 特にない |

「学習指導」が約70%

就学中のお子さんのが受けている教育や学校生活で充実させるべきだと思う点については、「学習指導」が約70%で最も多く、次いで「教職員の理解・支援」が約66%、「友人との関係づくり」が約51%、「就労に向けた教育」が約43%となっています。



(N=127)

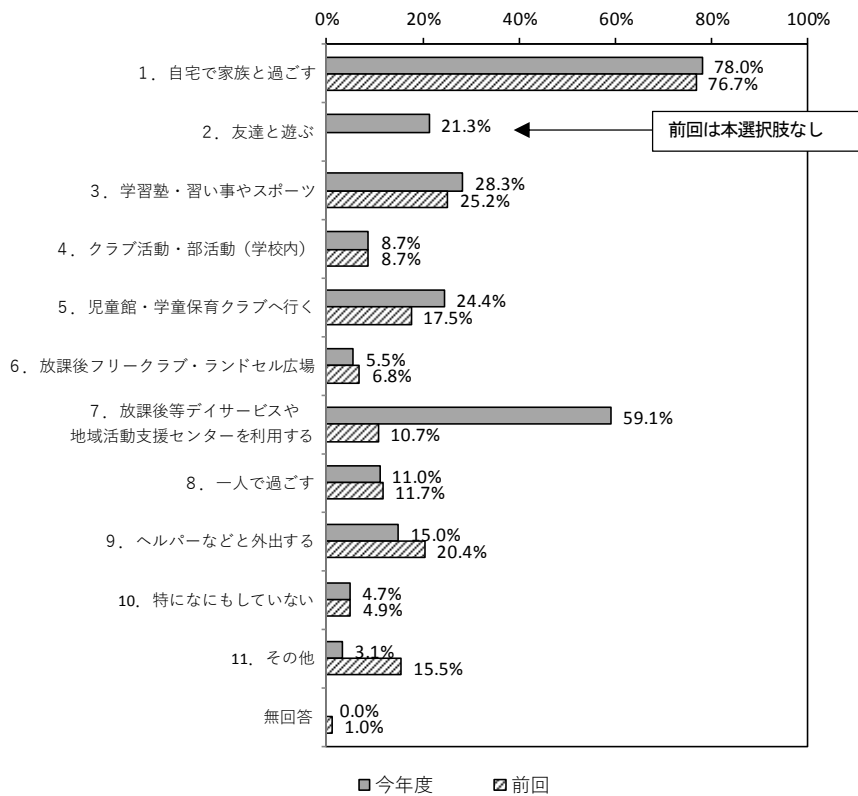
		回答者数	1. 学習指導	2. 学校や施設の整備	3. ガイドヘルパーによる通学時の介助	4. スクールバスによる通学時の送迎	5. 生活に対する支援	6. カウンセリングなどの心のサポート	7. 友人との関係づくり	8. 教職員の理解・支援	9. 就労に向けた教育	10. クラブ・部活動などの課外活動	11. その他	12. 特にない	無回答
児童	人数	127	89	46	36	28	34	39	65	84	54	39	11	0	1
	構成比		70.1%	36.2%	28.3%	22.0%	26.8%	30.7%	51.2%	66.1%	42.5%	30.7%	8.7%	0.0%	0.8%

問 14 就学中のお子さんについてお聞きします。お子さんは放課後や夏休みなどの長期休業中はどう過ごしていますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------------------|----------------------|
| 1. 自宅で家族と過ごす | 2. 友達を遊ぶ |
| 3. 学習塾・習い事やスポーツ | 4. クラブ活動・部活動（学校内） |
| 5. 児童館・学童保育クラブへ行く | 6. 放課後フリークラブ・ランドセル広場 |
| 7. 放課後等デイサービスや地域活動支援センターを利用する | 8. 一人で過ごす |
| 9. ヘルパーなどと外出する | 10. 特になにもしていない |
| 11. その他 | |

「自宅で家族と過ごす」が約78%

就学中のお子さんの放課後や長期休業中の過ごし方については、「自宅で家族と過ごす」が約78%で最も多く、次いで「放課後等デイサービスや地域活動支援センターを利用する」が約59%となっています。



(N=127)

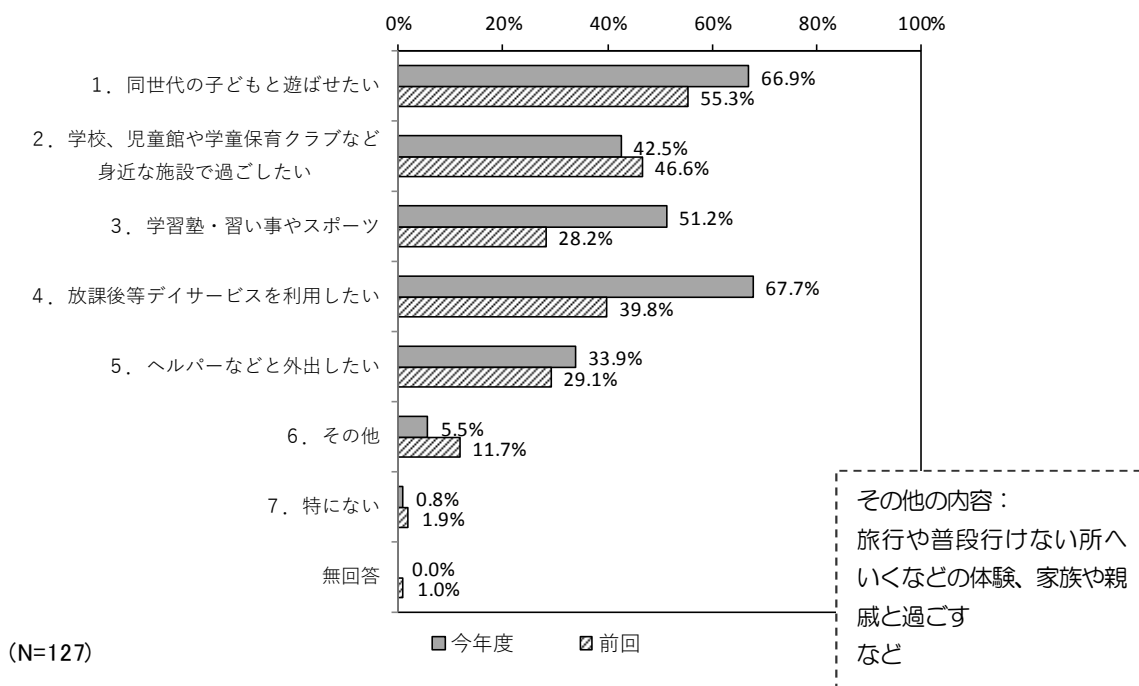
		回答者数	1. 自宅で家族と過ごす	2. 友達と遊ぶ	3. 学習塾・習い事やスポーツ	4. クラブ活動・部活動（学校内）	5. 児童館・学童保育クラブへ行く	6. 放課後フリークラブ・ランドセル広場	7. 放課後等デイサービスや地域活動支援センターを利用する	8. 一人で過ごす	9. ヘルパーなどと外出する	10. 特になにもしていない	11. その他	無回答
児童	人数	127	99	27	36	11	31	7	75	14	19	6	4	0
	構成比		78.0%	21.3%	28.3%	8.7%	24.4%	5.5%	59.1%	11.0%	15.0%	4.7%	3.1%	0.0%

問 15 就学中のお子さんについてお聞きします。放課後や長期休業中など、学校以外の時間はどのように過ごしたいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 同世代の子どもと遊ばせたい
2. 学校、児童館や学童保育クラブなど身近な施設で過ごしたい
3. 学習塾・習い事やスポーツ
4. 放課後等デイサービスを利用したい
5. ヘルパーなどと外出したい
6. その他
7. 特にない

「放課後等デイサービス」が約68%、「同世代の子どもと遊ばせたい」が約67%

就学中のお子さんの放課後や長期休業中など学校以外の時間の過ごし方の希望については、「放課後等デイサービスを利用したい」が約68%、「同世代の子どもと遊ばせたい」が約67%、「学習塾・習い事やスポーツ」が約51%となっています。



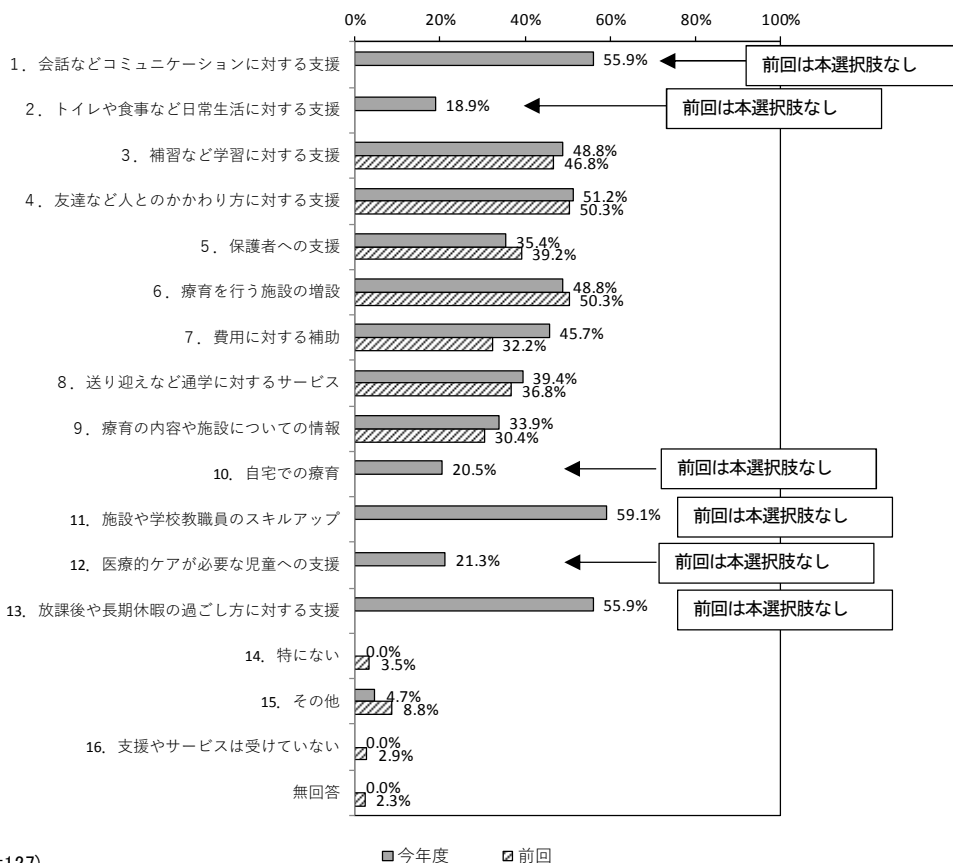
児童	回答者数		1. 同世代の子どもと遊ばせたい	2. 学校、児童館や学童保育クラブなど身近な施設で過ごしたい	3. 学習塾・習い事やスポーツ	4. 放課後等デイサービスを利用したい	5. ヘルパーなどと外出したい	6. その他	7. 特にない	無回答
	人数	127	85	54	65	86	43	7	1	0
構成比		66.9%	42.5%	51.2%	67.7%	33.9%	5.5%	0.8%	0.0%	

問 16 就学中のお子さんについてお聞きします。お子さんが受けている療育や支援について、充実させるべきだと思う点はありませんか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------------|-----------------------|
| 1. 会話などコミュニケーションに対する支援 | 2. トイレや食事など日常生活に対する支援 |
| 3. 補習など学習に対する支援 | 4. 友達など人とのかかわり方に対する支援 |
| 5. 保護者への支援 | 6. 療育を行う施設の増設 |
| 7. 費用に対する補助 | 8. 送り迎えなど通学に対するサービス |
| 9. 療育の内容や施設についての情報 | 10. 自宅での療育 |
| 11. 施設や学校教職員のスキルアップ | 12. 医療的ケアが必要な児童への支援 |
| 13. 放課後や長期休暇の過ごし方に対する支援 | 14. 特になし |
| 15. その他 | 16. 支援やサービスは受けていない |

「施設や学校教職員のスキルアップ」が約59%

就学中のお子さんの受けている療育や支援で充実させるべき点については、「施設や学校教職員のスキルアップ」が約59%で最も多く、次いで「会話などコミュニケーションに対する支援」、「放課後や長期休暇の過ごし方に対する支援」が約56%、「友達など人とのかかわり方に対する支援」が約51%となっています。



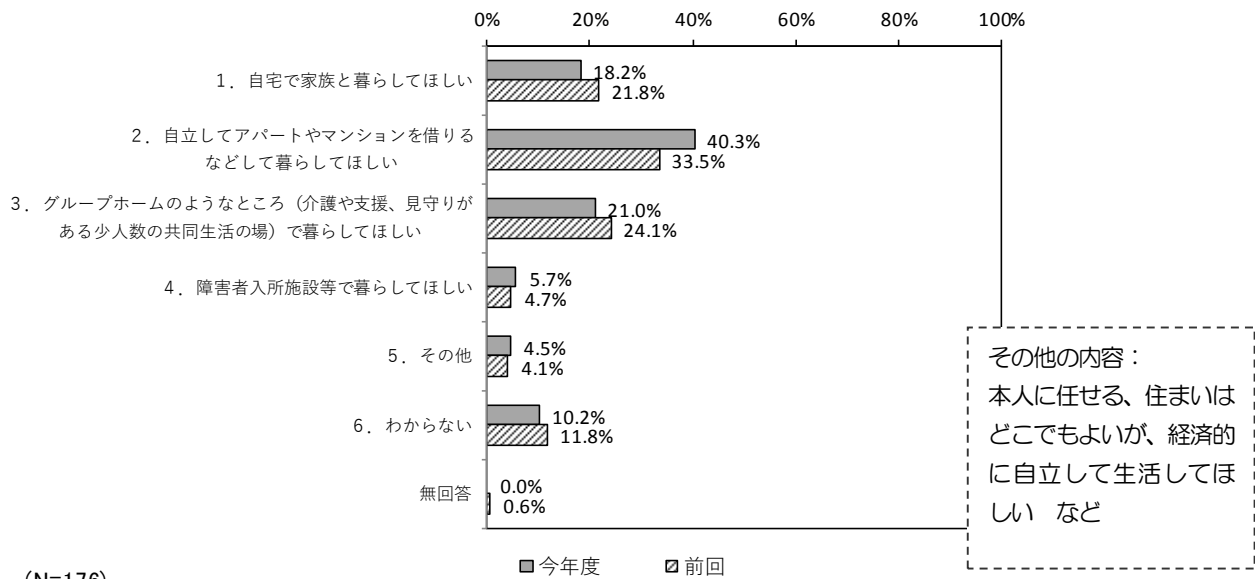
児童	回答者数																	
	人数	1. 会話などコミュニケーションに対する支援	2. トイレや食事など日常生活に対する支援	3. 補習など学習に対する支援	4. 友達など人とのかかわり方に対する支援	5. 保護者への支援	6. 療育を行う施設の増設	7. 費用に対する補助	8. 送り迎えなど通学に対するサービス	9. 療育の内容や施設についての情報	10. 自宅での療育	11. 施設や学校教職員のスキルアップ	12. 医療的ケアが必要な児童への支援	13. 放課後や長期休暇の過ごし方に対する支援	14. 特になし	15. その他	16. 支援やサービスは受けていない	無回答
人数	127	71	24	62	65	45	62	58	50	43	26	75	27	71	0	6	0	0
構成比		55.9%	18.9%	48.8%	51.2%	35.4%	48.8%	45.7%	39.4%	33.9%	20.5%	59.1%	21.3%	55.9%	0.0%	4.7%	0.0%	0.0%

問 17 お子さんには将来どのように暮らしてほしいですか。(1つに〇)

1. 自宅で家族と暮らしてほしい
2. 自立してアパートやマンションを借りるなどして暮らしてほしい
3. グループホームのようなところ（介護や支援、見守りがある少人数の共同生活の場）で暮らしてほしい
4. 障害者入所施設等で暮らしてほしい
5. その他
6. わからない

「自立してアパート等を借りるなどして暮らして欲しい」が約 40%

お子さんの将来の暮らし方の希望については、「自立してアパートやマンションを借りるなどして暮らして欲しい」が約40%で最も多く、次いで「グループホームのようなところで暮らして欲しい」が約21%、「自宅で家族と暮らして欲しい」が約18%となっています。



(N=176)

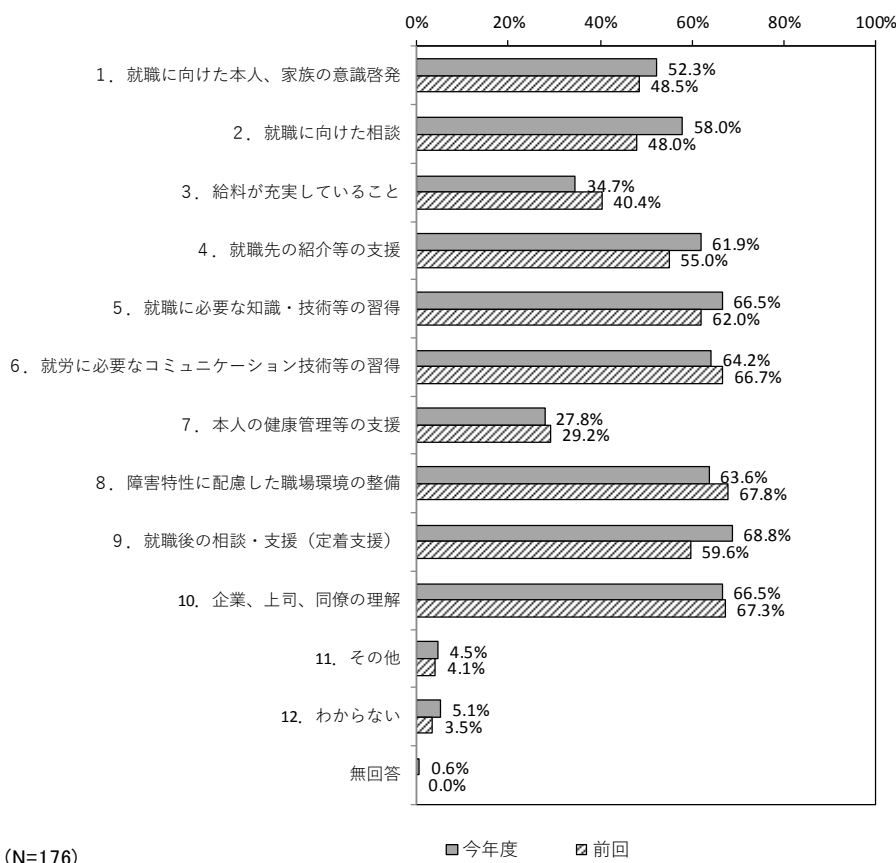
		回答者数	1. 自宅で家族と暮らしてほしい	2. 自立してアパートやマンションを借りるなどして暮らしてほしい	3. グループホームのようなところで暮らしてほしい	4. 障害者入所施設等で暮らしてほしい	5. その他	6. わからない	無回答
児童	人数	176	32	71	37	10	8	18	0
	構成比		18.2%	40.3%	21.0%	5.7%	4.5%	10.2%	0.0%

問 18 お子さんが将来仕事に就くために重要だと思われることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------|--------------------------|
| 1. 就職に向けた本人、家族の意識啓発 | 2. 就職に向けた相談 |
| 3. 給料が充実していること | 4. 就職先の紹介等の支援 |
| 5. 就職に必要な知識・技術等の習得 | 6. 就労に必要なコミュニケーション技術等の習得 |
| 7. 本人の健康管理等の支援 | 8. 障害特性に配慮した職場環境の整備 |
| 9. 就職後の相談・支援（定着支援） | 10. 企業、上司、同僚の理解 |
| 11. その他 | 12. わからない |

「就職後の相談・支援」「知識・技術等の習得」「企業、上司、同僚の理解」が重要

お子さんが将来仕事に就くために重要だと思われることについては、「就職後の相談・支援（定着支援）」が約69%と最も多く、次いで「就職に必要な知識・技術等の習得」「企業、上司、同僚の理解」がそれぞれ約67%となっています。相談支援、本人の知識・技術等の習得、企業・上司の理解という3者の協力が求められています。



児童	回答者数		1. 就職に向けた本人、家族の意識啓発	2. 就職に向けた相談	3. 給料が充実していること	4. 就職先の紹介等の支援	5. 就職に必要な知識・技術等の習得	6. 就労に必要なコミュニケーション技術等の習得	7. 本人の健康管理等の支援	8. 障害特性に配慮した職場環境の整備	9. 就職後の相談・支援（定着支援）	10. 企業、上司、同僚の理解	11. その他	12. わからない	無回答
	人数	構成比													
	176		92	102	61	109	117	113	49	112	121	117	8	9	1
			52.3%	58.0%	34.7%	61.9%	66.5%	64.2%	27.8%	63.6%	68.8%	66.5%	4.5%	5.1%	0.6%